

「玉野、再始動。」 さらに先へ



「玉野、再始動。」を掲げて市長に就任し、早いもので4年となりました。皆様の温かいご支援、ご協力に心より感謝申し上げます。

重点とした子育て支援では、子ども医療費の無償化を18歳まで拡大し、在宅育児手当の支給や子育て支援アプリの機能強化などを行いました。教育面では、外国人英語指導助手（ALT）の配置、AI型学習ドリルの導入を行うとともに、懸案の小中学校再編についても、子どもの教育環境を第一に考え、教育委員会と共に計画を進めています。

地域の活力の源である産業振興では、地元企業の魅力発信の強化と人材確保の支援に取り組み、観光振興では、瀬戸内国際芸術祭における循環バスの運行、塩づくりや造船など産業の歴史と現代アートを組み合わせた「瀬戸内産業芸術祭」の計画など、新たな魅力づくりと情報発信を行っています。

さらに、健康で安心して暮らせるよう、検診の一部無料化、たまの病院における遺伝子検査を活用した健康づくり、シーバスのルート見直し、防災倉庫の設置などを行いました。

また、老朽化した市役所本庁舎の建て替え工事に着手し、市民の芸術、文化活動の拠点となる新市民会館については、整備に向けて調査・研究を続けています。

この4年間で人口の社会動態のマイナス幅が縮小してきたほか、新たな企業進出や海外からの観光客の増加など、まちの景色が変わりつつあります。長年厳しいとされた本市の財政も、好調な税収やふるさと納税の大幅増などにより主要基金残高が120億円と、4年前の2倍以上に増えました。今後、ごみ処理共同化や市役所本庁舎など大型事業による借り入れは増えますが、国の有利な起債の活用などによって健全財政を維持できる見込みです。

こうした明るい変化が見える中、さらに動きを加速させ、時代の変化に対応した持続可能なまちづくりを進めなければなりません。そして、それぞれの地域が活力を保ち、多様な市民がつながり、生きがいと誇りを持って暮らせる「ウェルビーイングのまち」を目指し全力で取り組んでまいります。引き続き皆様のご指導、ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

玉野市長 柴田 義朗

柴田
よしろう

柴田よしろう後援会 会報

Vol.4
[2025 秋]

<https://shibata-yoshiro.com>



すべての市民が自分らしく輝ける「ウェルビーイング」なまちづくり

●4年目の政策進捗状況[自己評価]

[5段階 自己評価 ●5 達成／4 概ね達成／3 半分達成／2 少し達成／1 全く未達成]

分野	項目	取組状況(令和7年9月)	自己評価
若い世代が 魅力を感じる 子育てしやすい 住みよいまち	●玉野医療センターの産科、小児科の充実	▶小児科の充実、出産時のタクシー助成	2
	●満1才までの在宅育児手当	▶令和6年度から実施	5
	●若者の出会いの機会創出、結婚支援金	▶結婚支援金の充実、出会いイベント補助	4
	●子どもの遊び場整備	▶当事者の意見聴取、イベント開催	2
	●子どもの貧困対策	▶こどもまんなか宣言、子ども食堂助成	3
	●市内どこでも平等に教育を受けられる環境整備	▶学校適正規模・適正配置計画の策定	3
	●外国人指導助手(ALT)配置、英語教育強化	▶令和5年度から配置	5
	●玉野の住みよさPR、移住支援策強化、転入超過へ	▶地域おこし協力隊によるPR等強化	3
いつまでも 安心して 住み続けられるまち	●市民センターの機能見直し	▶巡回方式でセンターでの証明書発行	4
	●地域包括ケアシステムの充実	▶総合計画等の中で推進	3
	●健康づくり、歯科検診などで健康寿命延伸へ	▶検診の一部無料化、健康アプリ導入など	4
	●障がい者の就労、文化活動等支援	▶イベントの支援や意見聴取	2
	●高齢者の視点に立った地域公共交通の改善	▶シーバスのルート等見直し	3
	●地域防災、空き家活用、買い物難民など課題解決	▶防災倉庫設置、空き家利用促進	2
	●SDGsの取り組み強化	▶総合計画の中で施策を推進	3
地域の活力を 高める 産業振興と 観光の魅力向上	●企業誘致、IT企業などのサテライトオフィス誘致	▶パワーX誘致、ワーケーション推進	3
	●地域産業の育成支援、雇用創出	▶企業情報の発信強化、就職説明会開催	3
	●地域内で経済が循環する取り組み	▶マリンカードの利用促進	3
	●宇野港、渋川、深山公園などの観光PR、回遊性強化	▶瀬戸芸に合わせた循環バス運行	3
	●自転車のまちづくりでサイクリングステーションなど	▶サイクリングマップ作成など	3
	●道路整備や高松への直行航路開設の要望	▶国への要望継続	3
	●ののちゃんによるPR強化	▶イベントへの参加、海ごみPR大使就任	3
心豊かに暮らせる 文化を感じるまち	●子どもから大人まで楽しめる玉野芸術祭(仮称)	▶文化振興体制を強化	2
	●新市民会館の建設	▶情報収集、調査研究	2
	●歴史遺産の保存、伝統文化継承	▶総合計画に位置づけ	2
	●気軽にスポーツできる環境整備	▶スポーツ振興の体制強化	2
市民が信頼できる 情報公開と行財政改革	●市民目線の情報公開、地域の対話集会	▶対話集会、たまののミーティング実施	4
	●行政改革とふるさと納税で財政健全化	▶ふるさと納税の大幅増加	4
	●女性の活躍を推進	▶女性管理職の登用	4



玉野、
再始動。2.0

柴田よしろう後援会事務所

706-0002 玉野市築港2丁目1番11号 ダテビル 3F

Tel&Fax 0863-31-0303

●後援会公式サイト

柴田よしろう

検索



SNS発信中!

討議資料

令和7年9月発行
20250926-7000-4do

Profile

柴田 義朗 ●プロフィール

昭和36年 ●玉野市築港生まれ
玉野市立築港小学校、宇野中学校、
県立玉野高等学校を卒業
昭和59年 ●中央大学法学部卒業、
岡山県庁に入庁
総務学事課総括参事、
中山間・地域振興課長、
子ども未来課長等を歴任
平成30年 ●福祉政策企画監
令和元年 ●保健福祉部次長
令和2年 ●岡山県立大学
副理事長 兼 事務局長
令和3年 ●玉野市長に就任



これからの玉野5つの柱

1 安心して子育てや教育ができるまち

妊娠、出産、子育てへの切れ目のない支援や教育にかかる負担軽減、子どもの居場所づくりに取り組みます。

- 産前・産後ケアの充実
- 小中学校の給食費の無償化
- 子どもや大人、障がいのある無にかかわらず誰もが楽しめる遊び場づくり
- 子ども食堂など子どもの居場所づくり支援
- 学校再編に伴う通学路の安全確保

2 いつまでも元気で安心して暮らせる健康長寿のまち

健康づくりの取り組みをはじめ、防災や公共交通の見直し、地域の課題解決をさらに進めます。

- 健康づくりや認知症予防、歯科健診の促進
- 障がい者への理解と社会参加の促進
- シーバス、シータクなど公共交通の充実
- 災害情報の速やかで確実な伝達と避難所の環境向上
- イノシシなど有害鳥獣対策の強化
- 空き家対策の取り組み強化

3 未来を築く活力あふれるまち

造船など地場産業の人材確保を支援するとともに、新たな投資の促進や起業支援により地域経済の活力を高めます。また、歴史や文化、産業など観光素材となる隠れた魅力を掘り起こし、訪れる人がワクワクする「楽しいまち」を目指します。

- 若者や女性の起業やリスクリングの支援
- 地元企業で働く魅力の発信
- 新たな産業用地の確保
- 「新生宇野港」に向けた国、県と連携した取り組み
- 産業とアートを組み合わせた「瀬戸内産業芸術祭」の開催
- 農林水産業の振興と特産品のブランド化推進
- 自転車イベントやサイクリング環境の整備による自転車のまちづくり
- 観光大使や「のちゃん」の協力による情報発信強化

4 自分らしい生活や豊かさを感じるウェルビーイング*のまち

気軽にスポーツや文化活動を楽しめ、市民ひとり一人がいきいきと幸せを感じながら暮らせる魅力的なまちをつくりまします。

- 市民の文化芸術活動の拠点となる新市民会館（文化ホール）の整備
- 若者や女性をはじめ、様々な市民がつながり、活躍できる協働のまちづくり
- 深山公園のリニューアルによる魅力向上

5 市民に信頼され、持続可能なまち

市民や地域の声を聴き、市政の情報を積極的に発信します。また、財政の健全性を維持しながら、持続可能なまちづくりに積極的に取り組みます。

- 道路整備やインフラの老朽化対策
- デジタル化による、市役所の窓口業務などの改革
- 市民センターの機能の見直しと整備
- 移住定住促進策の強化



すべての市民が自分らしく輝ける“ウェルビーイング”なまちづくり

*ウェルビーイングとは、身体的、精神的、社会的に良好な状態にあることを指す概念です。単に病気でないだけでなく、幸福感や満足感、充実感といった主観的な感覚も含まれます。

1期4年の実績

《子育て・教育》

- 子ども医療費無償化を18歳まで拡大
- 満1歳までの在宅育児手当（月1万円）の支給
- こどもみらい課（ワンストップ窓口）の設置と「こどもまんなか宣言」
- 子育て支援アプリの機能強化
- 無料の出産あんしんタクシー
- 結婚新生活支援金の支給開始、若者の出会いイベント等の支援
- 外国人英語指導助手（ALT）の配置（5名）

《健康・安心》

- 岡山大学等と連携した遺伝子解析結果を活用する健康づくり
- マリンカード・アプリを活用したデジタル健康ポイントの導入
- 高齢者へのタクシーチケットの配布
- 地域防災計画とハザードマップの見直し
- シーバス、シータクの路線拡充
- 災害時避難所のトイレ等の環境改善
- 脱炭素推進補助金（太陽光パネルや電気自動車など）の創設
- 空き家の改修費用や片づけ費用の補助拡充

《産業・観光振興》

- 大都市圏の企業向けワーケーションツアーの実施
- 都市部の副業人材と地元企業とのマッチング支援
- 歴史をテーマにした冊子「玉野人」の発行、観光大使によるPR、サイクリングマップの作成
- 瀬戸内国際芸術祭に向けたアート作品追加、循環バスによる回遊性の向上

《行財政運営》

- 市民の意見を聴く対話集会等の開催（4年間で計85回）
- 地域おこし協力隊の導入による移住定住と観光振興の強化
- ふるさと納税の4倍増、市有施設への命名権導入による収入増
- 市民センターでの住民票など証明書の発行再開（巡回交付）
- 市役所本庁舎の整備（令和8年6月完成予定）



Shibata Yoshiro
玉野 再始動。2.0

